



いくのさん家の 『COMMON 吉方温泉』を 訪問しました！

今年の3月初め、デンマーク・ドイツ・英國の海外青年13人が『COMMON 吉方温泉』を訪問しました。これは内閣府が行う『青年社会活動コアリーダー育成プログラム』という事業の一環で、よりよい高齢者福祉のために国を越え、互いの福祉施策を学びあうことが目的です。皆さんともに真摯な方たちばかりで、国は違えど思いは一緒。とても有意義な時間となりました。

印象的だったのはデンマークもドイツも英國も、福祉施策に関しては日本とそう大差はないということでした。あの福祉大国として名高いデンマークの方も言っていました。「日本の福祉施策はすばらしい。自國とほとんど変わりはしない」と。いやはやちょっと一安心。日本の福祉もそう捨てたものではないみたい。ただ、こうも言つていました。「日本の福祉施策がうまく活用できていないとするのなら、国と地方、行政と民間団体、そして市民。それらの意向が一つの線となつてないのでは……」おっしゃるとおり。それぞれの立場からきちんととした提言、対話を積み重ね、思いを一つに臨んでいく姿勢が必須です。

（西堀慶）



大郷 いくのさん家

小規模多機能型居宅介護
大郷いくのさん家
鳥取市松原 112 番地 1
TEL 54-6161 (FAX 兼)



小規模多機能型居宅介護 いくのさん家

グループホーム
いくのさん家
鳥取市湖山町西 2丁目 237 番地 2
TEL 37-3727 FAX 37-3728

いくのさん家の 玉子焼き



夏号

2015 vol.004

発行 いくのさん家
住所 鳥取市湖山町西
2丁目 237-2
TEL 0857-37-3727
印刷 Studio-E

公式ツイッター

@ikunosange



ンマークのサイクリング同好会。認知症の人もそうでない人も助け合いながらサイクリングを楽しむといったもの。二日間で100キロ走ることもあるそうです。重度の認知症の方がこの会に参加して帰宅した時のこと。それまで会話も困難だったのに、サイクリングでの出来事を嬉々として家族に語ったそうです。好きの力ってすごいなあ。他には大工サロンというのも。どこの国の男性もお付き合いが苦手で引っ込み思案。言つていました。「男つてダメよねえ……」はい。これも万国共通の意見のようですねえ……。そんな男性たちを外に連れ出すためのサロンがこれ。いうなれば日曜大工の会。なるほど、これならとつつきやすい。さつそくいくのさん家でも取り入れたいな。

今回、海外青年たちと話をしていくて「いいなあ」と思ったこと。それは認知症の問題を話していくても、みんな常に前向きで決して沈んだりなんかしないこと。デンマークの青年が語っていました。「チャレンジして失敗だつた、ああまた失敗だつたと嘆くなんて時間の無駄よ。たくさんのチャレンジを試みて、その中から成功したものをピックアップすればいい。そう考えたほうが楽しくない?」この内閣府『青年社会活動コアリーダー育成プログラム』、鳥取県はこれまで3年続けて受け入れを行つてきました。来年は鹿児島県で行うということです。各国の福祉の今を知り、日本の福祉を客観的に見つめるいい機会。また近い将来、鳥取県にて開催しようと思っています。その際はこの紙面にて報告します。その日を楽しみに待つてくださいね。

おやつの時間



第四回

～吉岡温泉町の「赤ひげ先生」 の秘めた思い～



いつも大変お世話になつてている寺岡先生。その風貌と人柄から吉岡温泉町の「赤ひげ先生」との異名を持つとか持たないとか。今回じっくりお話をうかがいました。医療のこと、寺岡先生のこと、吉岡温泉町のこと。寺岡先生の魅力満載の『おやつの時間』です！

寺岡先生 で、何から話すの（笑）？

竹本 まずは先生が医師になつたきつかけや、これまでの経歴から聞かせてください。

寺岡先生 親父が医者だつたからね。小学校に入った頃には周りから医者になるんでしょう？ つて固められて

いたからね（笑）。よっぽど嫌いじゃない限りまあそれでもいいかなって思つていたかな。獨協医科大学で学んでね。医師免許とつてから研修医として栃木の大学病院で2年間働いた。それから越谷（埼玉）に獨協の病院ができるつていうんでその立ち上げに関わつて。消化器内科のね。

寺岡先生 どつちみち戻ろうとは思つていたのね。子供の教育もあつたし。あんまり転勤ばつかでもかわいそだな。まだ親父も健在だつたし、まあ帰つてしまはあーそぼつて

ここ吉岡温泉町に戻つてきたのはなぜですか？

竹本 看取りについてもやはり違いますか？

寺岡先生 当時の田舎の医者は看取りなどで5年間働いてたよ。

竹本 そうしたキャリアを持ちながら、ここ吉岡温泉町に戻つてきたのはなぜですか？

寺岡先生 どつちみち戻ろうとは思つていたのね。子供の教育もあつたし。あんまり転勤ばつかでもかわいそだな。まだ親父も健在だつたし、まあ帰つてしまはあーそぼつて

ここ吉岡温泉町に戻つてきたのはなぜですか？

竹本 看取りについてもやはり違いますか？

寺岡先生 病院ができるつていうんでその立ち上げで、消化器内科のね。

寺岡先生 どうしているかなって思つたときもあるんだけど入つていけない。今の時代はぐつとこらえるしかない。

寺岡先生 親父の頃はざつくばらん、アバウトにやつてたからね。往診なんか普通患者からお願いされなに玄関入つて行つて「来たよ」つてね（笑）。今じゃ無理だよ。医師法違反。押し売りになつちやうからね。正直、大丈夫かな、どうしているかなって思うときもあるんだけど入つていけない。今の時代はぐつとこらえるしかない。

寺岡先生 繫がりが希薄になつてしまつて地域のまとまりがなくなつたなど。介護保険も施設ばかり建てるんではなくて、地域のまどで行くといったスタンスの介護をやるべきだと思う。そもそも利用者を施設内だけで完結させる介護は無理だと思つるからね。

竹本 施設で囲いこむのではなくて吉岡の地域と繋がるような介護を目指すべきだと…。

寺岡先生 うん。施設の外まで広げてそこには住んでいる人間をなんとか引っ張り込まないと。地域と関わつてやつていかないと今の介護は無理だと思つて。じゃあ誰が音頭をとるかといえば小規模多機能が核にならないと。今、鳥取でも3近くあるんでしょうか？ せつかくここまで作つたんだから、もつと地域と関わらないと。小規模多機能が地域を引つ張つてくれれば再び繫がり出すんじやないかな。

竹本 胸にずしんと響きます。先生のおっしゃるように施設に抱え込まれ地域で暮らしていくことを支え

寺岡先生 親父はね、反面教師ですよ。本当に田舎の医者。患者とも医学的な話なんか全くしなくて、みんなが知らないような世間の裏の話ばつかりしていたよ（笑）。あの人、個性が強くていろんなことやつていたからね。真似はできない。というよりも真似はできない（笑）。だいたい親父が医者になつたのも、ばあさんがこいつをこのまま社会に出したら警察沙汰になるつていうんで医者にさせたつて言つくらいだし。それすごい（笑）。お父さんの時代とでは医師を取り巻く環境もだいぶ変つていてるんでしようね。

寺岡先生 そう（笑）。地域を診るにはアバウトにやつてたからね。往診なんか普通患者からお願いされなに玄関入つて行つて「来たよ」つてね（笑）。今じゃ無理だよ。医師法違反。押し売りになつちやうからね。正直、大丈夫かな、どうしているかなって思うときもあるんだけど入つていけない。今の時代はぐつとこらえるしかない。

寺岡先生 そう（笑）。地域を診るにはアバウトにやつてたからね。往診なんか普通患者からお願いされなに玄関入つて行つて「来たよ」つてね（笑）。今じゃ無理だよ。医師法違反。押し売りになつちやうからね。正直、大丈夫かな、どうしているかなって思うときもあるんだけど入つていけない。今の時代はぐつとこらえるしかない。

寺岡先生 繫がりが希薄になつてしまつて地域のまとまりがなくなつたなど。介護保険も施設ばかり建てるんではなくて、地域のまどで行くといったスタンスの介護をやるべきだと思う。そもそも利用者を施設内だけで完結させる介護は無理だと思つるからね。

竹本 施設で囲いこむのではなくて吉岡の地域と繋がるような介護を目指すべきだと…。

寺岡先生 うん。施設の外まで広げてそこには住んでいる人間をなんとか引っ張り込まないと。地域と関わつてやつていかないと今の介護は無理だと思つて。じゃあ誰が音頭をとるかといえば小規模多機能が核にならないと。今、鳥取でも3近くあるんでしょうか？ せつかくここまで作つたんだから、もつと地域と関わらないと。小規模多機能が地域を引つ張つてくれれば再び繫がり出すんじやないかな。

竹本 胸にずしんと響きます。先生のおっしゃるように施設に抱え込まれ地域で暮らしていくことを支え



デイサービスセンター

いくのさん家

鳥取市行徳3丁目732番地
TEL 23-6622 (FAX兼)

木守舎

小規模多機能型居宅介護

木守舎

鳥取市行徳2丁目429番地
TEL 24-0303 (FAX兼)

る仕事をしたいなと私たちも思つて
いるんです。「いくのさん家」に期待
することつてありますか?

寺岡先生 今まで通りやつていただき
たいなと。要望はありません(笑)。

竹本 最後に先生の目指している将来
像があつたら教えてください。

寺岡先生 スタンスは何も変えません
よ。このスタンスを変えないのが一
番良いと思ってる。ボチボチ、何
も広げずにやるんだろうな。

竹本 お酒を飲むスタンスも?
寺岡先生 最近は大人しくなったよ
(笑)。あんまり量が飲めなくなつた。
それでも毎日欠かさず飲んでい
るけど(笑)。



場所…寺岡医院
ゲスト…寺岡先生
聞き手…いくのさん家・竹本匡吾

いつも飘々としている先生がこんな
思いを秘めていたなんて…。先生
の地域に対する思いや小規模多機能
に対する期待を聞けて、嬉しさと共に
にぎつしり責任ものしかかり…。地
域を繋ぐ介護の仕事。やるしかり
ませんよね、やるしか、ね。

川本さん(96歳・仮名)の様子が
最近おかしい。日中うたた寝が多く
なり、起きいていてもうわの空。食事
の量も減ってきて、日に日に体力も
落ちている。大郷いくのさん家の職
員一同、川本さんのこれからについ
て話を合う。
「食事、水分量は詳細に記録する。」



『八月の鯨』



「食べられないからといって無理強
いをしない。」
一人一人が気になることを挙げて
いく。
「まだ体力のあるうちに、川本さん
のしたいことをさせてあげたい。」
ここでピタリと空気が止まつた。職
員一同考え込む。川本さんのしたい
ことつて、なんだろう…。

これまでにも聞いてきた。「川本
さん、好きな食べ物ってなんですか
か?」「もう歳やし、なんでもええ
なあ。」「今度、川本さんの行きたい
場所に出かけませんか?」「もう歳や
し、行かんでええわ。」「袋川の桜が
満開だつて。お花見に行きましょ
う!」「もう歳やしええにしようか。」
いつだつて「もう歳やし。」そう言つ
て交わされる。川本さんのしたいこ
と…。職員一同、しばらく「ウーン…」
と考える。

『八月の鯨』という映画の中に、名
優リリアンギッシュ演じる老婆が、
「壁に大きな窓を作りましょうよ!」
と訴えるシーンがある。「そうすれば
ここから入り江で泳ぐ鯨が見られる。
ねえ、この壁に大きな窓を作りましょ
うよ!」まるい瞳をさらに大きく
したく

輝かせ、幼子のような表情をたたえ
て訴える。何度観てもその嬉々とし
た姿にはれぼれする。そしてこう思
う。きっと年齢などは関係ないのだ。
ささやかながらも「したい」という
思いがあればきっとずっと生きてい
ける。「したい」という思いあってこ
の「生」なのだ、と。

山下さんとの無事再会まで、川本
さんの体調に気を配る。「したい」に
まだまだ寄りそえる。大郷いくのさ
ん家の介護ならぬ「たい護」がまた
一つはじまつた。

(西堀慶)



いくのさん家
居宅介護支援事業所
鳥取市吉方温泉1丁目252番地1
TEL 30-7881 FAX 30-7882



デイサービス
吉方温泉いくのさん家
鳥取市吉方温泉1丁目406番地
TEL 30-6565 (FAX兼)

那由他の人たち



田中 昇一さん

(吉岡 モータース・整備士)

いくのさん家の車に何かあったとき、すぐに駆けつけてくれるスーパー整備士の田中さん。職人気質でありながらいつもにこにこ。まさかこんなに険しい人生を歩んでいたなんて…。いくのさん家のスタッフみんなが頼りにしている田中さんの物語。始まります！



なんだあかんだでバタバタしどって。車に自転車、農機具まで面倒みどる。まあ、整備のなんでも屋だわいな。澤タク、今の日交で整備士をしつった。中学卒業してすぐに働いたわ。早く一人前になろう思つて人並以上に働いた。パテを勉強するにしても、仕事が終わつて帰つてから、そこらにある泥をこねてな。それをパテに見立ててよう練習しつつ、3年で仕事は全部覚えた。あれから60年以上たつたな。今でもこうして整備の仕事一筋。

小学3年の時に両親が亡くなつて。母親は身体が弱かつたけれど、ある程度覚悟はしとつたけど、その3ヵ月後に父親が心筋梗塞でな。どうしよう思つたな。6人兄弟の一番末っ子で、上の兄弟は結婚やらなんやらでもう家を出とつたし。3つ上の姉と二人、バラックの家で暮らししつづけた。ほ

んとに先が見えんかったわ。それでも生きていかないかん。豚を飼つて売つとつた。夜10時を過ぎると温泉街の旅館を一つ歩いて回つて、残飯を始めでな。親の残した借金もあつたし。それは意地でも返さないかん。澤タクの仕事が終わつたら今度はこつち。夜中の2時、3時までやつとつた。ようやつたな。あの頃のことを思うとほんとに涙が：出る。

結婚したのは21歳の時だつた。あの娘なら大丈夫つてお墨付きもらつてな。今はもう閉めたけど、30年くらい家内がすぐそこで喫茶店をやつとつた。鳥取でもまだ『丸福』と『鍵』と2軒しかなかつた時代。一か八かだな。喫茶店を建てる時、先代の寺岡先生（寺岡医院）が、「お前に何かあつた時代。」そう言つてくれてな。その言葉にすいぶん背中押してもらつたわ。

まだ吉岡も活気のある時代だつた。芸者がゴロゴロ歩いとつて、昼夜問わずにカラコロカラコロ下駄の音が響いとつた。おおらかな時代だつたわ。今は法律法律で枠にはめてな。あんたらはしんどい時代に生きとるなあ（笑）。

これまでよう他人様に助けてもらつた。だけえ、まだ元氣でいるうちはここでご恩返せないけん。そう思つとる。助けたり助けられたり、義理人情忘れたらいけんな。

いくのさん家の車になにかあつたらいつでも言つてくれたええ。まあ、わしの世話になるつちゅうことは、あんまり縁起のええ話じやないかもしねんがな（笑）。

※那由他（なゆた）：元仏教用語で「極めて大きな数量」サンスクリット語「無限」の意味。無限大に近い数字で、宇宙とか星とか、そういう届きそうで届かない思つたな。6人兄弟の一番末っ子で、上の兄弟は結婚やらなんやらでもう家を出とつたし。3つ上の姉と二人、バラックの家で暮らししつづけた。ほ

ヒイラギカフエ

いこみき

町内の子供からお年寄りまで幅広い層に愛される地域密着のお店。ゆつたりとした時間が流れる吉岡の街に、ひつてお墨付きもらつてな。今はもう閉めたけど、30年くらい家内がすぐそこで喫茶店をやつとつた。鳥取でもまだ『丸福』と『鍵』と2軒しかなかつた時代。一か八かだな。喫茶店を建てる時、先代の寺岡先生（寺岡医院）が、「お前に何かあつた時代。」そう言つてくれてな。その言葉にすいぶん背中押してもらつたわ。

まだ吉岡も活気のある時代だつた。芸者がゴロゴロ歩いとつて、昼夜問わずにカラコロカラコロ下駄の音が響いとつた。おおらかな時代だつたわ。今は法律法律で枠にはめてな。あんたらはしんどい時代に生きとるなあ（笑）。

ここまでよう他人様に助けてもらつた。だけえ、まだ元氣でいるうちはここでご恩返せないけん。そう思つとる。助けたり助けられたり、義理人情忘れたらいけんな。

ここはなぜか落ち着くんですね。地域のつながりと活性へとつなぐ、地域にとつてなくてはならない場所。

オーナーは町内から愛される存在。地域のつながりと活性へとつなぐ、地域にとつてなくてはならない場所。

「ぎょうせん舎」を使つたオリジナルスイーツは地元を愛するオーナーこだわりのおもてなし。



※己己己己（いこみき）：四字熟語「互いに似ているもののたとえ」文字もよく似ていて、見分けがつきにくいでしょ。

編集後記

私が好きな事。キャンプとスノーボードと工作。どちらもおばあちゃんになつたら出来ないと諦めていたけれど、いくのさん家の仲間に出会つて、考え方たいへん変わりました。それに仲間がいたら、キャンプも出来るし、作品展だって出来るかも。スノーボード山には登れなくても、はさみが使えないでも、私のがしたいを助けてくれる仲間がいたら、キャンプも思つたのです。そして気付いたのです。こんなすごい仲間と、一緒に仕事をしていることも、私の好きな事だつたんだと。ご意見・ご感想、今後取り上げてほしい記事等ございましたら、「いくのさん家のすてきな仲間に是非連絡いただけたらと思います」。

特定非営利活動法人
コトリ舎

鳥取市吉方温泉1丁目252番地1
COMMON吉方温泉
TEL 30-6565 (FAX兼)

グループリビング
かなで

グループリビング
かなで

鳥取市行徳3丁目734番地
TEL 21-7555 (FAX兼)